

施策評価シート(令和3年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0204	政策名	日常生活の安全確保	施策主管課	市民生活総合相談センター	課長名	坊澤 尚行			
政策の目指す姿	安全・安心な日常生活を送っています									
施策No	03	施策名	交通安全の推進	関係課名						
施策の目指す姿	交通事故が少なくなっています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故(人身)件数全体の50%前後は高齢者が関係しており、高齢者の事故が多いと言えます。 高齢者等の道路横断中の交通事故がなくなる状況ではありません。 次世代を担う子どもを交通事故から守ることが求められています。 働き方の多様化などにより交通指導員を新たに務める人が少なくなっています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故をなくすため、高齢者の交通安全対策を講じることが求められています。 子どもを交通事故から守るため、交通ルールの理解と交通マナーの習慣付けを図る必要があります。 運転者の交通安全意識と道路横断者の交通マナーの向上を図る必要があります。 交通指導員の負担を軽減し、新たな担い手の確保が必要です。 										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の交通事故対策として体験型の交通安全教室の開催、また、高齢者免許返納支援事業を継続して行う。 子どもの交通事故をなくすため、各年齢に合わせた交通安全教室を行う。 交通指導員養成講座を開催し、交通指導員の確保を図る。 										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> 園児や小中学校生徒、高齢者等を対象に各世代に応じて、歩行時や自転車運転時の留意すべきポイント解説や、体験型機材を活用して自身の身体能力(俊敏性)を計測するなど、交通安全教室の内容の充実を図り開催した。 花巻市交通安全対策協議会、花巻市交通安全協会、花巻市交通安全母の会などの関係機関と連携して「ライト早め点灯パトロール」、「一服一休運動」、「交通事故死ゼロを目指す日」など季節やテーマごとに街頭指導等の啓発活動を実施した。 交通指導員養成講座を令和4年2月に開催した結果、令和4年度から受講者のうち2名が新規隊員に加わった。 										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
(1)交通安全意識の啓発 交通指導員等による街頭啓発活動、子ども、高齢者等を対象とした交通安全教室の開催										
<ul style="list-style-type: none"> 登校時の街頭指導、各年代に応じた交通安全教室を実施 高齢者世帯への訪問活動などによる交通安全啓発活動の実施 交通安全母の会等と連携した訪問活動(啓発物品等の配布) 高齢者の運転免許返納者への支援 高齢者運転免許返納支援事業の継続実施 交通安全対策協議会や関係機関等と連携した交通安全運動の実施 交通安全協会等と連携し啓発活動を実施 交通安全コンクール「チャレンジ100」の参加促進 交通事故防止と運転者の交通ルール遵守の習慣づけを目的に実施 交通安全推進モデル地区指定による交通安全の推進 5地区(花巻中央、湯口、内川目、八日市、成島)を指定 交通指導員養成講座の実施 令和4年2月に開催 										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
交通安全コンクール「チャレンジ100」参加者数	交通安全推進活動への市民参加状況を示す指標	出典：花巻市交通安全対策協議会統計資料 交通安全コンクール「チャレンジ100」の参加者数を計測する。	人	目標値			2,650.00	2,650.00	2,650.00	2,650.00
				実績値			2,659.00	2,724.00		
交通事故(人身)件数(暦年)	交通事故の発生状況を示す指標	出典：花巻警察署統計資料(暦年)	件	目標値			168.00	165.00	162.00	160.00
				実績値			150.00	132.00		
高齢ドライバー事故(人身)率(暦年)	高齢者が当事者となった交通事故の発生状況を示す指標	出典：岩手県警察本部(交通事故発生状況)	%	目標値			29.00	28.00	27.00	25.00
				実績値			28.00	28.78		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標 「交通安全コンクール参加者数」【達成度a】 市ホームページなどで周知を図ったほか、花巻市交通安全対策協議会構成団体等への参加協力を依頼することにより参加者を増加することができた。</p> <p>成果指標 「交通事故(人身)件数」【達成度a】 交通指導隊による街頭指導や児童や園児等を対象にした交通安全教室などの交通安全啓発の継続した活動により市民の交通ルール遵守の意識づけが図られた。</p> <p>成果指標 「高齢ドライバー事故(人身)率」【達成度b】 交通事故防止を目的とした高齢者の免許返納支援の取り組みによる効果と考えられる。 令和3年高齢ドライバー(人身)事故率：高齢者事故38件/事故総数132件 = 28.78%</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>(交通安全推進事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通指導車で事故多発場所などを重点的に巡回し、交通事故ゼロに向けたより効果的な広報啓発を行う。 ・交通安全ポスターコンクール、交通安全川柳の募集、交通安全暑中見舞いはがき作戦などを継続して開催することにより、あらゆる世代の交通安全意識の向上を図る。
新たに取り組むべき事業はないか
なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・花巻市におけるすべての交通事故のうち高齢者が関わっている割合は、令和元年47.1%、令和2年45.3%、令和3年43.2%と減少傾向にあるものの、依然として高い状況にあることから、全体の交通事故件数を減らすことはもとより、高齢者が関わる事故の割合を減らす必要がある。 ・子ども(小中学校生)の交通事故件数は、令和元年9件、令和2年9件、令和3年5件であり、高校生の事故件数は令和元年9件、令和2年8件、令和3年6件といずれも減少傾向にあるが、交通災害をゼロにする必要がある。 ・交通指導員は定数89名以内としているが、令和3年度末時点で62名であり、成り手の確保対策が必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通事故対策として体験型の俊敏性測定器を活用した交通安全教室の開催、高齢者免許返納支援事業を継続推進する。 ・子どもや高校生の交通安全意識を高めるため、幼保園、学校や学童クラブ、PTA等と連携して交通安全教室をはじめとする施策を継続して取り組む。 ・地域の交通安全への関心を高められるよう広報啓発活動に取り組み、交通指導員養成講座への参加を促すとともに、交通指導員の負担軽減となるような活動の在り方について見直しの検討を行い、交通指導員の確保を図る。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	交通安全推進事業費	市民相談	一致	直結	C
	・交通指導員による街頭指導の実施(交通指導員数62名、街頭指導出勤人数のべ4,132人、広報活動人数のべ483人)				
020	高齢者運転免許返納支援事業費	市民相談	一致	直結	B
	・高齢者の事故防止のため、自主的に運転免許証を返納した方(65歳以上)にバスおよびタクシーの利用料金の一部を助成する 。運転免許証の自主返納者数426人(花巻警察署資料)、事業利用者数360人				